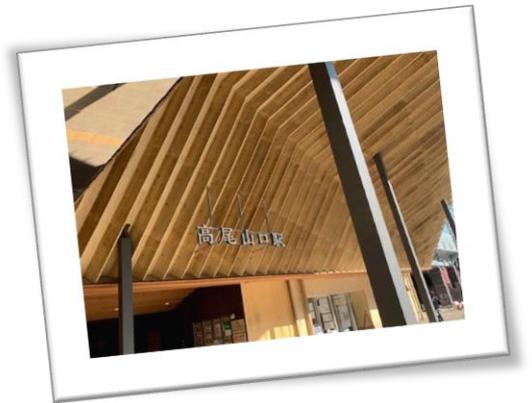


# 週末プチ散歩番外編・高尾山



8月15日(日)猛暑日となったこの日、川崎市の最高気温は36度。コロナ感染も拡大傾向のなか、意を決し高尾山へ行ってきました。

熱中症対策として早朝登山とすべく高尾山口駅には8時03分到着。



駅前にはいつもの賑わいはないものの、同じように早朝組がちらほらと。

ストレッチを済ませいざ出発！



さっそく道端の花がお出迎え。先日の「週末プチ散歩②」の生田緑地でも目にした白い花は「藪ミョウガ」と分かりました。

8:24 6号路登山口へ着きました。



狭い登山道は前にも後ろにも人がいっぱいです。ヤブラン、ホトギス、タマアジサイなどなど写真を撮っているとなか

るとなか

なか先に進めません(笑)。「びわ滝」には寄らず先に進みます。

6号路はお馴染み溪流沿いの細い道をたどるコースなので緑陰も手伝って暑さそれほど感じません。水分を摂りながら休み休みゆっくり歩きに徹します。





休憩場所の大山橋では以前はあったはずのベンチがなくなり、丸太が何個か椅子代わりにありました。

折れた枝や倒木が無残にも一塊に寄せられていたところは去年の台風19号の傷跡を思い出させます。

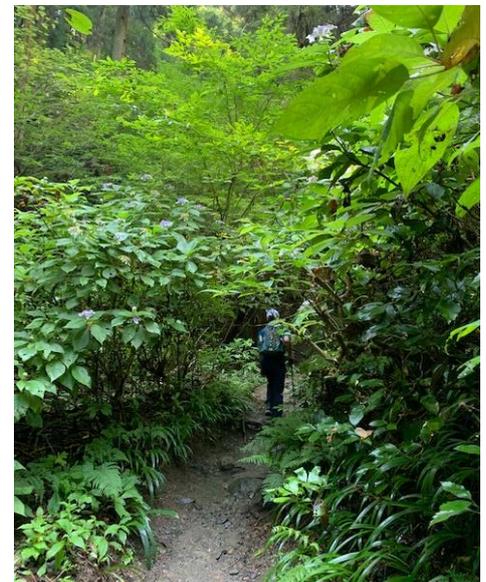


少し行った先ではタマアジサイのトンネルが・・・そういえば大山橋の手前にも2～3か所は同じトンネルがありましたが、光の加減もよくここが一番素敵かなあと思い1枚パシャリ。

飛び石で沢の中を上っていく場所にでました。ここも以前とは様子が変わり台風19号の影響を免れなかったことを思い知らされましたが、写真を撮ることを忘れてしまいました。



沢を上ると間もなく階段地獄(ジョークですよ～)が現れます。汗かきかき上ります。階段が終わりベンチのあるスペースに来るとベンチはみな休む人で所狭しな状況となっています。ソーシャルディスタンスはどうなっているのでしょ～か(˘˘)；



立ち休憩で息を整えて5号路を通り山頂へ。10:05山頂到着です。コースタイムは大幅にオーバーしましたが、ゆっくり登ったお蔭で疲れは感じません。

山頂はいつもと変わらぬ賑わいでした。

夏の登山のご褒美はこれ！とこれ！雪のない富士山とかき氷です。

(それでもやっぱり私は小仏城山のかき氷が最高なのですが・・・)



そうそう、高尾山ではマスク着用のお願いがホームページにありましたが、見渡してもマスク着用は半分といった感じでした。(いいのかな～少しこわいな～)

高尾山の公式ツイッターではビジターセンターに 8/12に落雷があったとの情報がありましたが、見た感じでは影響なかったようでした。良かったです。



10:55下山開始。1号路で下ります。

薬王院の下で「十穀力団子」の「大麦・黒米・もちきび・・・」などの10穀・すなわち10の具で「天狗」となる・・・の看板に惹かれ、お昼も食べていないことだし・・・と言いつつ(笑) 団子を頬張りました。

蛸杉を過ぎたあたりで女性二人が何やら珍しいものを写真に撮っている様子。

おばさん根性を発揮して尋ねると「オトシブミ」とのこと。詳しいことは後から調べようと思い、とにかく1枚パシャリ。

どうやら「オトシブミ」は甲虫で、葉にくるまれた様は幼虫の「ゆりかご」(揺籃)のようです。葉の巻ものが昔の文に似ていることからこれを作る昆虫を「オトシブミ」というようになったそうです。一つ勉強になりました(^)



浄心門に差し掛かる前でひと騒動に出くわしました。東京消防庁の山岳救助隊のバイク2台と車両です。なんと助けを求める人の声も聞こえてきます。

4号路で滑落者が出たようです。山頂直下で4号路は通行止めになりテープも貼られていましたが、入ってしまった人がいたようです。

高尾山でも滑落事故の

話はよく聞きます。山岳救助隊なんて1000m以上の高山でのことと思いきや599mの高尾山でも実は重要な存在だったのです。

まさに「たかが高尾山、されど高尾山」の心もちが大事だと認識新たにしました。右下の写真は分かりづらいけど山岳救助隊の雄姿です。

最後はケーブルを利用し、ゆったりと12:15高尾山駅へ戻りました。前回高尾山に来たのは3月で、以来5か月ぶりになった今回の「高尾山」は得ることいっぱい山行となりました。

ちょっと「プチ散歩」とは言い難いけれど・・・(笑)

(中村ゆかり)

